

地域の流通・卸事業者へのヒアリング結果について (建設・住宅資材の供給状況等)

- 国土交通省からの情報提供を踏まえ、経済産業局が7月上旬に各地域の流通・卸事業者等へヒアリングを実施しました。全体的な傾向として、1ヶ月前（5月下旬～6月上旬）と比較した仕入先からの調達状況の変化については、9割を超える事業者から「改善傾向にある」との回答をいただきました。
- 5月下旬～6月上旬からの1ヶ月間においては、各地域の流通・卸事業者に関する調達・取引状況として、主に以下のような変化が見られました。

<資材メーカーの供給状況の変化>

- 断熱材や防水資材等の一部メーカーの新規受注停止が解消し、流通・卸事業者の調達状況が改善。

<最終需要家からの発注状況の変化>

- 3月～6月中旬までは、最終需要家から前年を超える注文が入っていたが、6月下旬以降、注文が落ち着き始めた。

- また、経済産業省においても、各地域の流通・卸事業者の上流に位置している資材メーカーや全国規模の大手流通事業者に調達状況をヒアリングしたところ、6月下旬から7月にかけて、メーカーの新規受注停止の解除、受注数の制限の解除、納期の短縮など、調達状況が改善している旨の声をいただいております。

- 他方、個別には、各地域の流通・卸事業者の上流の事業者から納期提示が遅い資材もある旨の意見もあり、流通の偏り・目詰まり解消のご案内も行ったところ です。

- 国土交通省からの情報提供等も踏まえて、調達が難しいと回答いただいた資材等のメーカー等と引き続きコミュニケーションを図り、流通の偏り・目詰まり解消等の取り組みを進め、供給の平常化を図ってまいります。

主な住宅建材・設備の受注の状況(R8.8.1時点)

各社HP、取引先への通知、各社へのヒアリングを元に作成

- 6月以降、住宅設備・建材メーカー等から新規受注を再開する旨の公表等が行われ、順次供給状況が改善。

具体的な事例

●ユニットバス

- 6月9日、TOTO (株)、(株) LIXIL、パナソニックハウジングソリューションズ (株) がユニットバス製品の受注の正常化 (通常の納期回答等) について公表。

●防水資材

- 6月19日、日新工業が、塩ビシート防水材の新規受注を開始し、防水材について全面再開を公表。
- 7月1日、田島ルーフィングが、7月上旬に各種防水材、7月下旬に屋根下葺材等の受注の再開を公表。

●シンナー

- 6月23日、政府は、シンナーメーカーから工務店等にシンナーを直接販売する仕組みを新たに開始。

●断熱材

- 6月30日、旭ファイバーグラスが、新規顧客お断りとしていた方針を解除し、新規案件含め受注開始を公表。
- 7月29日、旭化成建材が、8月3日から一部製品を除く断熱材及び関連副資材 (ネオマフォーム等) の新規受注再開を公表。